

もり・かわ・うみを育む ふるさとの流域づくり



山口県 山口市 榎野川流域連携促進協議会

1 社会資本の概要

榎野川は山口市北部にその源を発し、大小24の支流を持ち、山口盆地から市街地を流れ、周防灘の山口湾に流入する二級河川です。その流域では、古くは大内文化の繁栄をもたらし、明治維新においては、若き志士たちが奔走した歴史のある県都となっています。

また、上流域ではゲンジホテルが飛び交い、中流域ではアユをはじめとした様々な生物が生息する環

境が保全されているほか、下流域では300ha余りの干潟があり、日本の重要湿地500にも選ばれ、絶滅危惧種であるカブトガニやクロツラヘラサギなどの貴重な生息場所になっています。

山口の歴史文化と自然を育んだ榎野川は、今でも保全活動や交流が行われるなど、多くの人々に親しまれる憩いの場になっています。



榎野川の源流



ふしの川漁協まつり



河口干潟に生息するカブトガニ

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

榎野川源流域の豊かな自然を次世代に引き継ぐと、平成13年2月に「榎野川の源流を守る会」を組織し、募金活動を展開し約1,200万円を山口市に寄附し、「四季の森」公園の整備につなげました。

源流域の保全からスタートした活動が流域全体に広がり、ボランティアに感謝の気持ちを伝えるため、山口県が策定した「やまぐちの豊かな流域づくり構想（榎野川モデル）H15.3」とタイアップし、地域

通貨「フシノ」の流通モデル実験に取り組みました。

流域関連団体が「フシノ」を活用しながら、森林整備、河川清掃、干潟再生等の保全活動を継続発展させていきました。また、山口市の伝統工芸品大内人形の作者と連携し、フシノのお殿様、お姫様を流域連携のシンボルとして、山口駅に設置しました。これまでに数多くのボランティアや企業の協力を得て、保全活動や文化面での連携を実施してきました。



整備した四季の森の紅葉



地域通貨「フシノ」



山口駅に大内塗のフシノのお殿様・お姫様の設置

3 活動の成果や波及効果等

上流域では「四季の森」が整備され、下流域ではアサリの漁獲が復活しました。また、環境学習や地元への愛着を育む活動として、森林整備・水辺の教室・干潟再生の活動・野鳥保護活動等としても広がりを見せ、企業のみならず、小学生・大学生・子育て世代の参加があるなど、業種や世代を問わない活動に拡大しています。

この流域全体を対象とした取組は、県内の錦川や島田川等の他流域にも波及しています。



森林整備



水辺の教室



多くの企業の協力



干潟再生の活動

4 前回受賞時からの活動の発展内容

受賞以降、流域内住民のソフト面主体の活動が、源流の碑の設置などハード面の活動、流域外からのボランティア参加や企業等からの御支援により、流域連携の活動の広がりを見せています。

喜びの声



受賞者

榎野川流域連携促進協議会
会長 西嶋 裕作

コメント

これまで、多くの皆様や企業の方の御理解と御協力により、活動を継続・発展することができました。関係者一同感謝申し上げます。

この受賞を励みに、これからも榎野川流域のもり・かわ・うみを育むふるさとの流域づくりに取り組んでいきます。

活動の内容

- ・榎野川河口干潟再生活動の開催 (H16～)
- ・地域通貨「フシノ」モデル実験 (H15～H27)
- ・流域マップの作成

活動の経緯

- 平成13年 榎野川の源流を守る会発足
- 平成15年 地域通貨フシノのモデル実験開始
- 平成17年 手づくり郷土賞（一般部門）受賞
- 平成25年 プロジェクト未来遺産登録（公社）日本ユネスコ協会連盟
- 平成29年 榎野川源流の碑設置

所在地

山口県 山口市

活動主体及び連絡先

榎野川流域連携促進協議会 (TEL 083-929-0325)

対象となる社会資本

榎野川、四季の森、きらら浜自然観察公園、河口干潟、山口湾
※管理者 山口県、山口市

